

監査措置状況報告書

令和2年5月1日

実施年度	平成31年度	監査種別	定期監査（下期）
監査実施日	令和2年2月3日～2月27日		
担当部署	企画部 ブランド戦略課	内線	2278

監査の結果	措置状況等	
	報告日現在の状況	改善中
	概	要
<p>○補助金の予算執行について</p> <p>各課が所掌する補助金について12月末現在の予算執行状況を調査したところ、執行率の低い補助金が散見された。飛騨高山ブランド振興事業補助金については、今年度末までの見込みを含む実績件数が、当初計画より大幅に下回っていた。</p> <p>所管課においては、予算積算時にニーズを的確に把握するとともに、年間を通して補助制度の効果的な広報活動に努め、事業効果が上がるよう適正な予算執行に取り組まれない。</p>	<p>飛騨高山ブランド振興事業補助金の令和2年度予算については、実績を踏まえ、予算編成を行っているところ。</p> <p>執行率の向上に向けて、広報紙やFMラジオ、メール配信サービス、市民便利帳などのさまざまな媒体を活用するとともに飛騨地域地場産業振興センターや高山商工会議所等とも連携し制度の周知を図ります。</p> <p>また、メイド・バイ飛騨高山認証団体やものづくり実践塾参加者等に対しては、直接制度説明を行い、個別相談にあたるなど利用促進に取り組みます。</p>	

監査措置状況報告書

令和2年5月1日

実施年度	平成31年度	監査種別	定期監査（下期）
監査実施日	令和2年2月3日～2月27日		
担当部署	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357

監査の結果	措置状況等	
	報告日現在の状況	改善中
	概	要
<p>○補助金の予算執行について</p> <p>各課が所掌する補助金について12月末現在の予算執行状況を調査したところ、執行率の低い補助金が散見された。高地トレーニングエリア利用促進事業補助金については、今年度末までの見込みを含む実績件数が、当初計画より大幅に下回っていた。</p> <p>所管課においては、予算積算時にニーズを的確に把握するとともに、年間を通して補助制度の効果的な広報活動に努め、事業効果が上がるよう適正な予算執行に取り組まれない。</p>	<p>高地トレーニングエリア利用促進事業補助金については、各学校の部活動で利用を検討していただくよう当該制度の周知を実施しました。</p> <p>今後は、学校のみならずスポーツ少年団へも周知するほか、さまざまな競技団体などが集まる場において、高地トレーニングエリアの概要や高地でのトレーニングの効果等とあわせて当該制度の一層の周知を図るなど利用促進に取り組みます。</p>	

監査措置状況報告書

令和2年5月1日

実施年度	平成31年度	監査種別	定期監査（下期）
監査実施日	令和2年2月3日～2月27日		
担当部署	海外戦略部 海外戦略課	内線	2417

監査の結果	措置状況等	
	報告日現在の状況	改善中
	概要	
<p>○補助金の予算執行について</p> <p>各課が所掌する補助金について12月末現在の予算執行状況を調査したところ、執行率の低い補助金が散見された。おもてなし国際化促進事業補助金については、今年度末までの見込みを含む実績件数が、当初計画より大幅に下回っていた。</p> <p>所管課においては、予算積算時にニーズを的確に把握するとともに、年間を通して補助制度の効果的な広報活動に努め、事業効果が上がるよう適正な予算執行に取り組まれない。</p>	<p>おもてなし国際化促進事業補助金については、広報たかやま、Hit's FM、高山商工会議所会報、飛騨・高山観光コンベンション協会総会などで事業者への広報を行うとともに、飛騨高山国際誘客協議会の会員及び新たな宿泊施設の整備を進める事業者への周知を実施しました。</p> <p>また、令和2年度より新たな補助事業として「無料公衆無線LAN環境の新規整備事業」を追加し、おもてなし環境の充実を図る施策を実施しているところです。</p> <p>今後も、ニーズに合わせた補助メニューの検討に取り組みます。</p>	

監査措置状況報告書

令和2年5月1日

実施年度	平成31年度	監査種別	定期監査（下期）
監査実施日	令和2年2月3日～2月27日		
担当部署	市民保健部 市民課	内線	2152

監査の結果	措置状況等	
	報告日現在の状況	改善中
	概要	
<p>○国民健康保険 保健事業の見直しについて</p> <p>国民健康保険の保健事業では、健康の維持や増進を図るため、ウォーキングやヨガなど様々な体力づくり事業を行っている。中でも水中歩行運動は、毎年開催されており利用者にとっては定着している事業と言えるが、その委託料の執行状況を調査したところ、昨年度は予算額6,000千円に対し、執行額は1,049千円（執行率17.5%）に留まり、4,951千円の不用額が生じていた。今年度も例年並みの申込状況であることから、多額の不用額が発生すると思われる。</p> <p>所管課においては、保健事業実施計画（データヘルス計画）の中間見直しが来年度予定されていることから、恒常化した事業を慢性的に行うのではなく、健康の維持や、増進等の目的を達成できる事業となるよう内容の見直しを検討されたい。</p>	<p>国民健康保険の保健事業は、第2期高山市保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき実施しています。</p> <p>計画では、生活習慣病の重症化予防と特定健診受診率・特定保健指導の実施率の向上を図るとともに、被保険者への働きかけとして医療費の抑制・適正化の取組みや健康意識向上のための事業を実施することとしています。</p> <p>ウォーキングやヨガなどは健康意識向上の取組みとして、運動するきっかけづくりのための健康づくり事業と位置付けています。</p> <p>本計画の中間年である令和2年度においては、これまでの実績や効果などを踏まえ、健康意識向上、健康の維持や増進のためにより効果的な保健事業のあり方を検討し、本計画を見直します。</p>	

監査措置状況報告書

令和2年5月1日

実施年度	平成31年度	監査種別	定期監査（下期）
監査実施日	令和2年2月3日～2月27日		
担当部署	企画部 企画課	内線	2436

監査の結果	措置状況等	
	報告日現在の状況	措置済
	概要	
<p>○寄附金（ふるさと納税）の予算計上について</p> <p>ふるさと納税は応援したい自治体への寄附金であり、市は寄附者に対し金額に応じて返礼品を贈っている。その予算及び決算については、次表のとおりである。歳出は寄附金見込額の3割相当額を報償費（ふるさと寄附贈呈品）として当初から予算計上しているのに対し、歳入の当初予算は1千円を計上しているのみで、収入確認後に補正している。</p> <p>地方自治法第210条（総計予算主義の原則）では、「一会計年度における一切の収入及び支出は、すべてこれを歳入歳出予算に編入しなければならない。」と規定している。</p> <p>予算を積算する段階で、歳出予算（報償費）に応じた歳入予算（寄附金）を計上すべきと考えるが、検討されたい。</p>	<p>歳入予算については、正確に財源を捕捉し計上する必要があることや、歳出予算と違い予算額を越えて執行（収入）が可能なことなどが地方財政法をはじめ各種法令等に定められており、これらの趣旨を踏まえ、予算編成を行っているところです。</p> <p>ふるさと納税（寄附金）については、寄附者の自発的意思に基づく随時の収入であり、当初予算の段階で正確にその金額を見込むことは困難であります。また、当初から寄附金を見込んだ予算、即ち、寄附金収入がなければ事業実施ができない予算の編成は、財政運営上、適当でないとも考えています。</p> <p>このことから、歳出予算（報償費）に応じた歳入予算（寄附金）として計上するのではなく、今後も現行の対応としていきたいと考えています。</p> <p>他方で、年度内における寄附金（収入）は、補正により当該年度（一会計年度）の予算に全て編入していることから、地方自治法第210条（総計予算主義の原則）の趣旨に沿った運用を行っているものと認識しています。</p>	